



同社には、町PTA連合会、来島小学校からも感謝状が贈呈されました

町内の横断歩道を引き直していただいた雲南道路サービス(株)に、塚原町長から感謝状を贈呈しました。

町内では、道路標示の薄れが多くなっており、6月に雲南警察署長へ引き直しを要望していました。この度、道路標示・道路標識を中心に交通安全施設事業に取り組む同社に、ボランティアとして、学校への登校路を中心に11カ所の横断歩道を引き直していただきました。

今後も町内の道路標示の改善に向けて、要望活動を実施していきます。

雲南道路サービス(株)に感謝状

10月11日(金)



木山庄原市長(左から4人目)をはじめ、庄原市の皆さんと

自治体間と住民の交流を促進することで、両自治体の発展と地域振興を図ることを目的に、広島県庄原市と連携協定を締結。庄原市役所で締結式を行いました。

同市とは、平成11年から産業の振興等を図り地域の発展に資することを目的に「瑞穂・高野インターアクセス、新銀山街道整備促進期成同盟会」を設置し、広域連携を進めてきました。

今後、協定締結により、両自治体の地域振興に資する事業の推進や住民の交流を促進していきます。

庄原市と自治体間交流に関する連携協定を締結

10月17日(木)



香り袋づくりも大好評

本町と包括連携協定を結ぶ、(株)AKOMEYA TOKYOの神楽坂店(東京)で飯南フェアを開催しました。

このイベントは、飯南町産コシヒカリをはじめ、奥出雲和牛や舞茸など、ふるさと納税の返礼品となっている特産品を関東圏でPRすることが目的。来店者は、特産品を一口ずつ乗せたプレートの試食や、森林セラピー®のメニューの一つである、香り袋づくりを体験しました。

今後も、まちや特産品のPR活動を通して、全国に本町をアピールしていきます。

飯南町フェアを開催

11月2日(土)~4日(月祝)



●利用開始 12月2日(月)
問合せ 保健福祉課
72・1770

母子手帳アプリ「母子モ」は、妊娠から出産、育児までの予防接種の日程・記録やお子さんの成長記録などが管理でき、子育てに必要な情報も入手できるアプリです。その本町版が利用できるようになりました。無料で利用できますので、ぜひ活用ください。

アプリのダウンロードは、二次元バーコードを読み込むか、アプリストアで「母子モ」と検索してください。

母子手帳アプリ「母子モ」の飯南町版の利用開始

12月2日(月)



郵便局と駐在所の職員で結成された「ゆちゅ」のライブも



来場者は新そばややまめなど美味しい食べ物を堪能

志津見のうぐいす茶屋周辺で、R184(いやし)街道紅葉祭実行委員会が主催する「もみじ祭」が開催されました。

11月2日は大雨警報発令となる荒天で中止となり、3日のみの開催となりましたが、やまめの塩焼きや大判焼きなどの販売があり、多くの来場者が列を作りました。

会場周辺には平成16年からもみじが植樹されており、県内外から自ら植樹したもみじに肥料をあげたり、手入れしたりする来場者も訪れました。

雨も上がりにぎやかにもみじ祭



松江から毎年、もみじの手入れに訪れる方も

11.3 日祝

来島交流センターで「第44回来島地区文化祭」が開催されました。

来島保育所の和太鼓でステージイベントがスタート。オカリナ演奏、竖琴、フラダンスなど、普段から交流センターを利用し活動している団体が日ごろの練習の成果を披露し、写真や編み物、書道などの作品も展示されました。

当日は、高校生が公民館運営協議委員会のお茶席や健康ブースでのスタッフとして活動。美術クラブも屋外でのチョークアートなどを行い、文化祭を盛り上げました。

来島地区の秋の恒例行事 来島地区文化祭



屋外の地面をチョークでかわいく彩りました

11.3 日祝

中学生が力を合わせて
雲南飯南ベースボールクラブ山陰大会優勝

雲南市・飯南町の中学3年生で構成された雲南飯南ベースボールクラブが、「全山陰かばトーナメント」第21回やすぎCUP少年軟式野球大会で5年ぶり2回目の優勝を果たしました。

同クラブは全14チームが参加した大会で、1回戦から決勝戦まで全4試合を戦い、堅い守備を武器に接戦を勝ち抜きました。

赤来中から参加した鹿田昌吾さんは「優勝できてうれしいです。1回戦の決勝点につながるヒットが印象に残っています」と話していました。



鹿田さん(前列右)を含めた選手代表が、11月7日に優勝を町長に報告